

インマヌエル中目黒キリスト教会

2014年6月29日聖日礼拝

使徒の働き連講③③

「アンテオケ教会～十の特色」

使徒の働き11章 19-30節及び

13章 1-4 節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き11章 19-30節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp230~/ 第三版の聖書はp251~

19 さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれにも、みことばを語らなかった。

20 ところが、その中にキプロス人とクレネ人が幾人かいて、アンテオケに来てからはギリシヤ人にも語りかけ、主イエスのことを宣べ伝えた。

- 21 そして、主の御手が彼らとともにあったので、大ぜいの人が信じて主に立ち返った。
- 22 この知らせが、エルサレムにある教会に聞こえたので、彼らはバルナバをアンテオケに派遣した。
- 23 彼はそこに到着したとき、神の恵みを見て喜び、みなが心を堅く保って、常に主にとどまっているようにと励ました。

- 24 彼はりっぱな人物で、聖霊と信仰に満ちている人であった。こうして、大ぜいの人々が主に導かれた。
- 25 バルナバはサウロを捜しにタルソへ行き、
- 26 彼に会って、アンテオケに連れて来た。そして、まる一年の間、彼らは教会に集まり、大ぜいの人たちを教えた。弟子たちは、アンテオケで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。

- 27 そのころ、預言者たちがエルサレムからアンテオケに下って来た。
- 28 その中のひとりでアガボという人が立って、世界中に大ききんが起ると御霊によって預言したが、はたしてそれがクラウデオの治世に起こった。
- 29 そこで、弟子たちは、それぞれの力に応じて、ユダヤに住んでいる兄弟たちに救援の物を送ることに決めた。
- 30 彼らはそれを実行して、バルナバとサウロの手によって長老たちに送った。

聖書朗読

新約聖書

使徒の働き13章 1 - 4 節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp232~/ 第三版の聖書はp253~

1 さて、アンテオケには、そこにある教会に、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、国主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどという預言者や教師がいた。

2 彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい」と言われた。

- 3 そこで彼らは、断食と祈りをして、ふたりの上に手を置いてから、送り出した。
- 4 ふたりは聖霊に遣わされて、セルキヤに下り、そこから船でキプロスに渡った。

説教

使徒の働き連講③③

「アンテオケ教会～十の特色」

使徒の働き11章19-30節

13章1-4節

竿代照夫 牧師



主テキスト

「彼ら(アンテオケ教会)は、断食と祈りをして、
ふたり(バルナバとサウロ)の上に
手を置いてから、送り出した。」

(使徒13:3)

1. 大都会の真ん中の教会(地図とイラスト①)

キリキヤ



ユダヤ

1. 大都会の真ん中の教会（地図とイラスト①）

1. 大都会の中



2. 単純な信仰に生きる教会(20-21節)

2. 単純な信仰



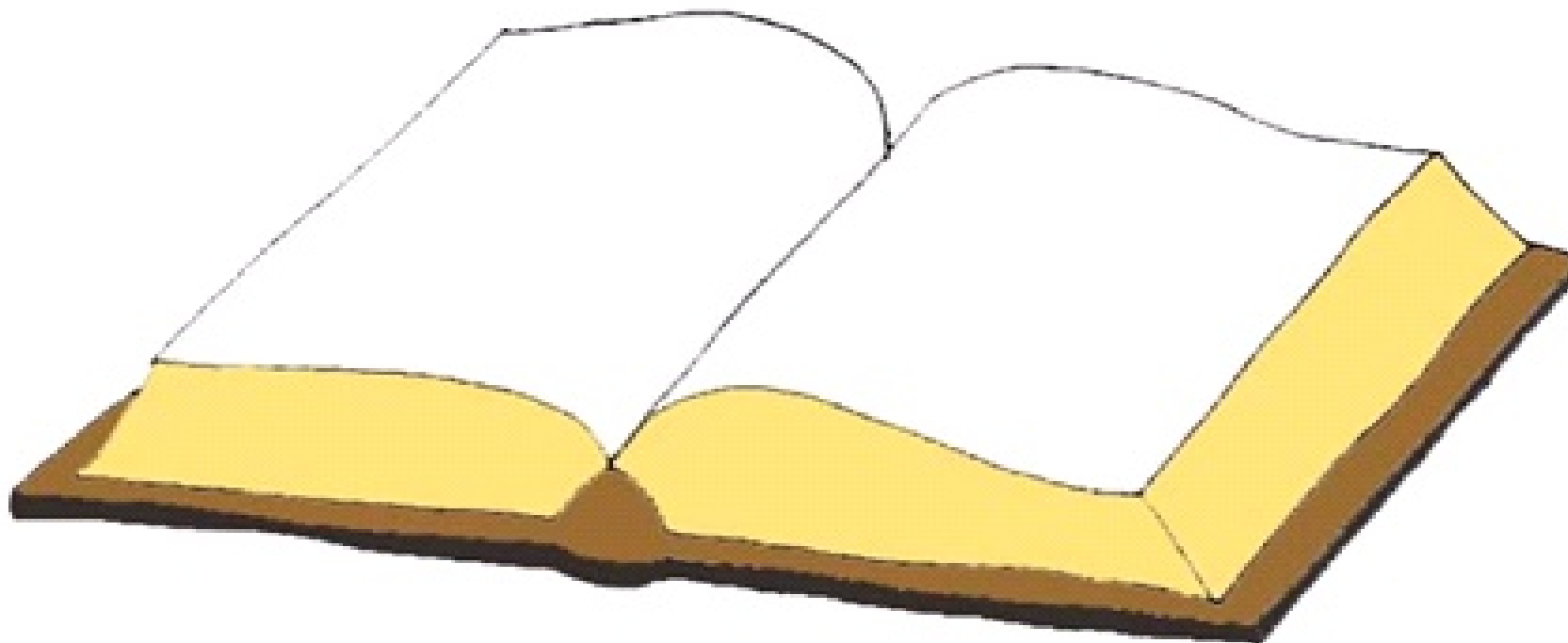
3. あふれる恵みの教会(22-24節)

3.あふれる恵み



4. 学び大好き教会(25-26節a)

4.学び



5. 「キリストに夢中」の教会(26節b)
- ・「クリスチャン」の元祖

5.キリストに夢中



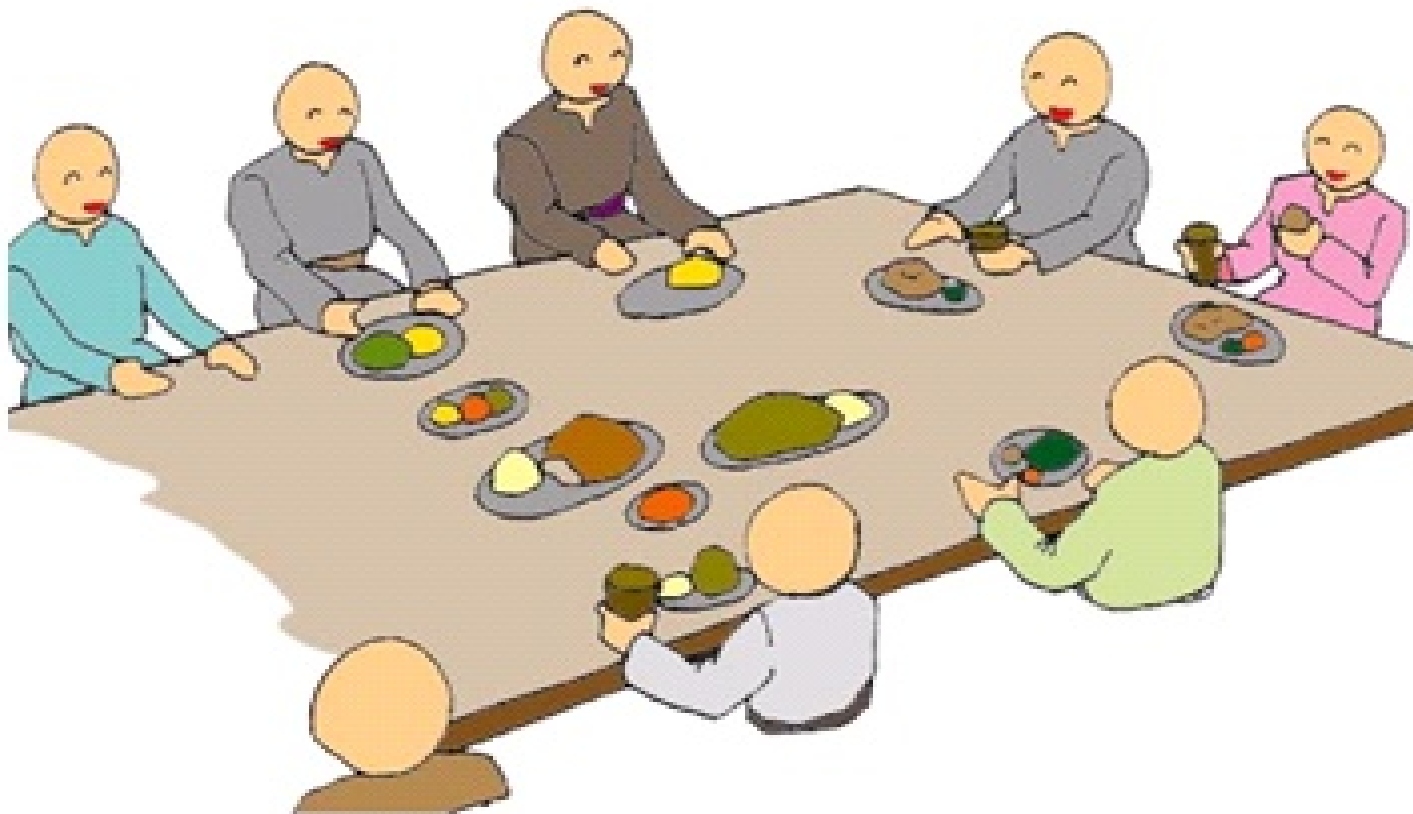
6. 喜んで与える教会(27-30節)
- ・エルサレムへ飢饉援助義捐金

6. 喜んで与える



7. 交わりを楽しむ教会（ガラテヤ2:12）

7.交わり



8. 広い心の教会(13:1)

- ・多国籍の指導者達
- ・互いの違いを受け入れ合う広い心

8. 広い心



9. 礼拝と祈りを大切にする教会(13:2-3)

9.礼拝と祈り



10. 世界宣教



10. 世界宣教を始めた教会(13:2-3) (イラスト⑩)

- 教会で一番大切な二人を宣教に派遣
- 二人に按手して見送る
- 二人を支え続ける
- 二人の帰国報告を受け、再派遣する

おわりに

アンテオケにならって、中目黒教会も、

- お互いを受け入れよう
- 地域社会に溶け込もう
- 世界宣教に力を尽くそう